

排水不良な転換畑に適する飼料作物の栽培・利用

農業研究センター 畜産研究所 飼料生産利用部

研究のねらい

平坦部水田地帯では排水不良田が多く、これらの転換畑における飼料作物の栽培は湿害のために安定した生産量が得られないことからあまり定着していない。

このため、これらの排水不良な転換畑に適する飼料作物を選定した。

研究の成果

1. 暖地型牧草（ローズグラス、スーダングラス）

- (1) 梅雨期前に播種した暖地型牧草は湿害のために生産量は極めて低い。しかし、圃場が乾燥する梅雨後に播種すれば良好な生育を示し、1 a 当たり 430 ~ 450kg（乾物換算 1 a 当たり 60 ~ 70kg）程度の生産が可能である。
- (2) 暖地型牧草における作業機械踏圧後の再生力は、ローズグラスが最も大きく、スーダングラスはやや劣り、他の草種では踏圧後の再生はほとんど認められなかった。
- (3) 排水不良田において暖地型牧草を栽培する場合、いぐさ刈り取り後などの梅雨後播種による短期利用作物として乾燥利用に最適である。

2. 寒地型牧草（リードカナリーグラス）

- (1) 寒地型牧草であるリードカナリーグラスの播種時期は、夏雑草の生育が衰え、寒地型牧草の生育適温期の9月下旬から10月上旬とする。本牧草は湿害には極めて強く、年間を通して良好な生育を示し、1 a 当たり 950kg（乾物換算 1 a 当たり 180kg）程度の高い生産量が得られる。
- (2) リードカナリーグラスの作業機械踏圧抵抗性は極めて大きく、踏圧回数が増えるにつれて再生茎数も増加し、生産量も増加する。
- (3) リードカナリーグラスの栽培にあつたては播種量 1 a 当たり 0.2kg 程度の散播方式が良く、多回刈が可能で、乾燥利用に適している。
- (4) リードカナリーグラスの品種としては、牧草生産性から「ベンチャー」、「パラトン」の2品種が適する。

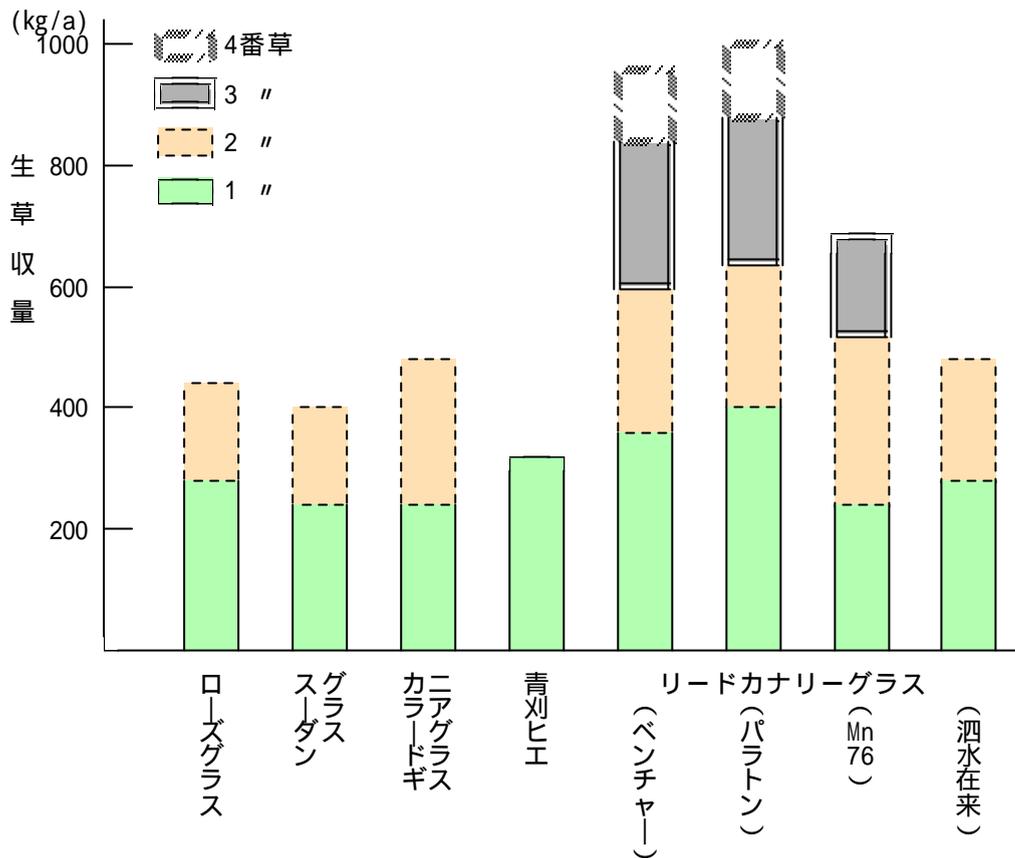


図1 牧草の時期別生産量

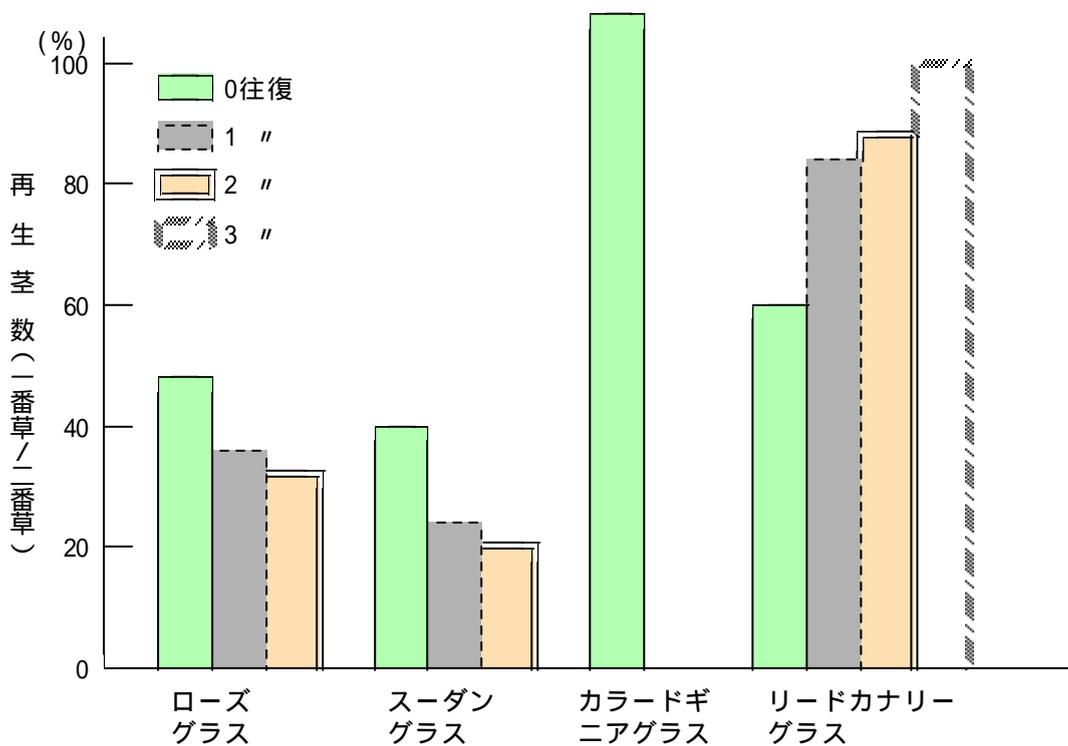


図2 牧草の機械踏圧抵抗性 (40馬カトラクターを使用)



写真 リードカナリーグラス